

令和4年度 全国労災病院医療安全推進週間 実施紹介

労働者健康安全機構(JOHAS)

医療企画部医療安全対策課

北海道中央労災病院

北海道中央労災病院 (johas.go.jp)



11月1日（火）～11月30日（水）

■ 医療安全対策に関する取り組みのアピール

院内各部署から募集した、医療安全に関する標語や部署の取り組みのポスターを掲示し、来院者が優秀作品決定の投票参加。

院内ポスター掲示期間：11月1日～30日

■ 職員研修

「みんなでつくり、みんなで根づかす医療安全文化」
学研ナースングサポートによるe-ラーニング



釧路労災病院

釧路ろうさい病院 (johas.go.jp)

11月20日(日)～11月26日(土)



- 患者・地域住民との情報共有と患者・地域住民の主体的参加の促進

- 職員研修

11月11日(金) 17:15～17:45

救急蘇生研修 薬剤部部門対象

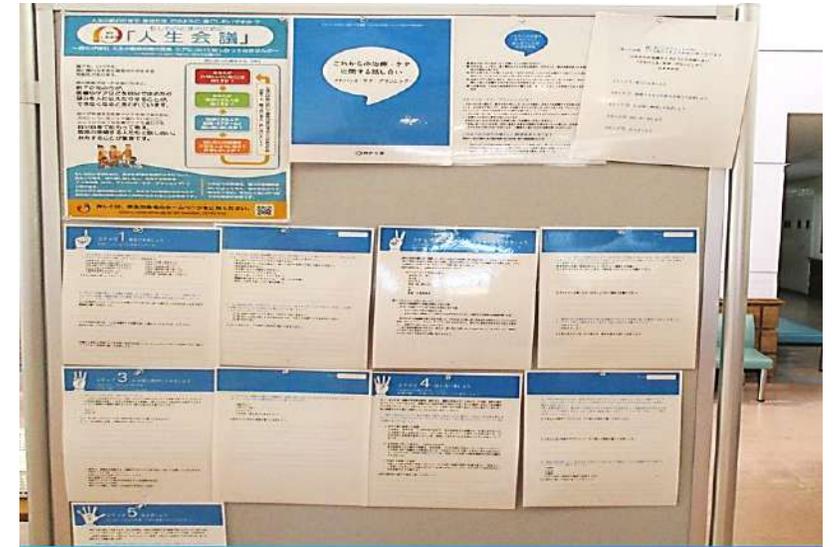
「心配蘇生を心肺蘇生に」

講師：リスクマネージャー部会メンバー

- 医療安全パトロールの実施

10月25日

市立釧路総合病院との医療安全相互チェック テーマ；転倒・転落に関する取り組みについて



青森労災病院

青森労災病院 (johas.go.jp)



11月20日（日）～11月26日（土）

- 医療安全の患者参加に関する取り組みがわかるポスター掲示
- 医療安全の患者参加に関する取り組みがわかる標語・川柳掲示
- 職員研修
「救急法基礎講習」
講師：野村救急医療検討委員長
参加者：研修医の他に各部署から代表者（講習後、各部署へAEDトレーニングキットを回覧し伝達講習）
「みんなで延ばそう健康寿命」
講師：田口リハビリテーション部長
今年度は外来患者へメディネット・入院患者へ無料チャンネルで転倒予防講座を配信
- 医療安全パトロールの実施



東北労災病院

東北労災病院 (johas.go.jp)

11月20日（日）～11月26日（土）



■ 2022年度医療安全部会活動の紹介

- ・患者誤認防止
- ・転倒転落予防
- ・医療安全院内教育

■ 医療安全パトロールの実施

注射調製時の3度の確認

注射準備テーブルの上に設置されている針捨て容器に、3度の確認の実施を促すカードを掛けているか、注意喚起につながっているか



注射調製、3度の確認

* 薬剤名読み上げてダブルチェック

薬剤を取り出すとき

薬剤を注射器に吸い上げるとき

薬剤を吸い上げた後

(空アンプル、空バイアル)

秋田労災病院

秋田労災病院 (johas.go.jp)



11月7日（月）～12月2日（金）

- 医療安全をイメージした標語・川柳の掲示
- インシデント事例分析発表会（職員研修）
発表部署（2階西：4階西：手術室：薬剤部）
参加できなかった職員には動画配信をしました。



福島労災病院

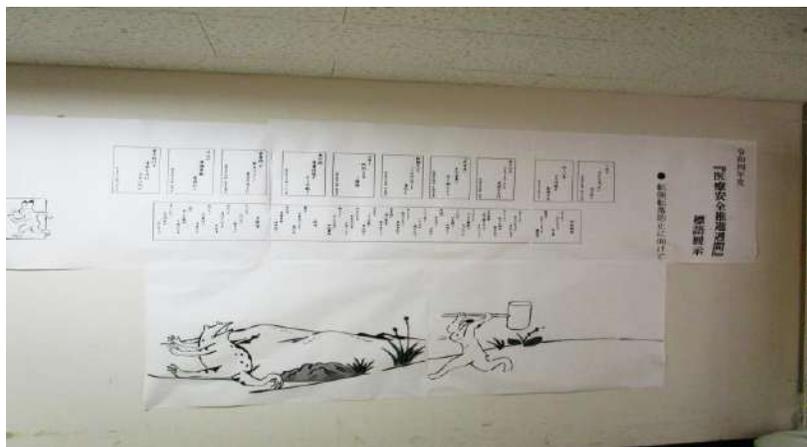
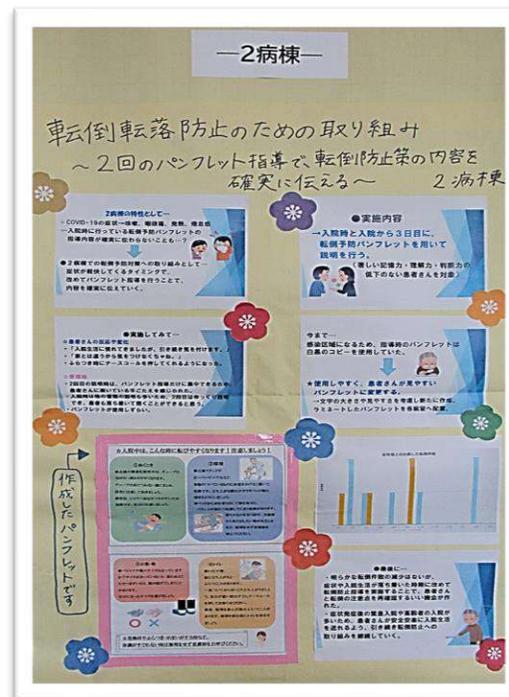
福島労災病院 (johas.go.jp)

11月18日 (金)



■「転倒転落の取り組み成果を伝え合おう！」

- 各病棟（7部署）の転倒転落防止に関する取り組みをポスターセッションで伝え合い、それぞれの活動報告を行った。また1階廊下に7部署のポスターを展示した。
- 各部門から転倒転落防止に関する標語を募集し、合計23の標語が集まり1階廊下へ展示した。



千葉労災病院

千葉ろうさい病院 (johas.go.jp)

11月24日 (木) ~ 12月2日 (金)



■ 医療安全の話題を全職員で共有することで、医療安全に興味・関心を持ってもらう取り組み。

テーマ : 多職種連携で医療安全を考えよう

内容 : 自部署が取り組んでいる! 今後取り組む!

多職種で実践している、実践したい医療安全の取り組みについてポスター掲示

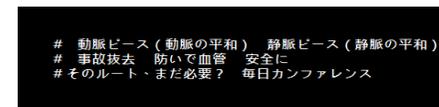
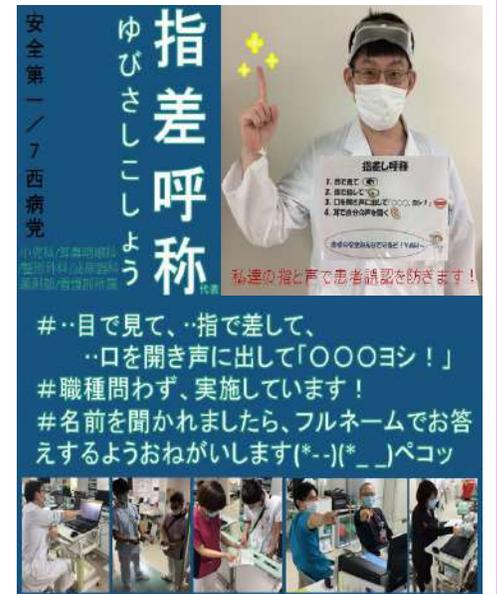
◎ 掲示期間中に投票箱を設置し、患者・家族・職員より投票をしてもらい、最優秀1作品 優秀作品2作品を選ぶ。

■ 患者さんに医療への参加協力と医療安全推進活動の取り組み。

入院、外来患者問わず、高齢者の転倒転落が院内で発生しているため、身体機能チェックとロコモ体操の紹介。

相談担当者: 検査技師、整形外科外来看護師、整形外科病棟看護師、医事課長、会計課長、外来師長補佐、医療安全管理者

* 担当者は当日までにリハビリテーション技師より身体機能チェックの方法とロコモ体操について指導を受け習得した。



東京労災病院

東京労災病院 (johas.go.jp)

11月20日（日）～11月28日（月）



■ 医療安全コーナーの設置

- 病院正面玄関及び3階医局前の廊下に医療安全に関するポスター、標語、川柳の展示
- 誤嚥予防のリーフレット配布
- 掲示しているポスター、標語に「いいね」シールを患者さんやご家族に貼ってもらい患者参画を促した。
- 「いいね」シールの獲得数で最優秀賞、優秀賞、特別賞を決定し安全対策委員会の場で表彰した。医療安全の話題を全職員で共有することで、医療安全に興味・関心を持ってもらう取り組み。

■ ロコモティブシンドロームを予防しよう！

- 理学療法士による片足立ちチェック及び結果のフィードバック及びリハビリのリーフレットを配布した。



選ばれたポスターの掲示



リハビリ部門によるロコモチェックの様子



安全対策委員会で病院長より
賞状と記念品授与

関東労災病院

関東労災病院 (johas.go.jp)



11月21日 (月) ~ 12月2日 (金)

■ 医療安全コーナーの設置

テーマ: 「患者確認」

- ・医療安全週間の掲示
- ・医療安全に関するポスター
- ・デジタルサイネージの上映



■ 職員研修

テーマ: 「医療安全推進マニュアルについて」「リスクマネージャーの役割」等



内容

- 1. 「医療安全推進マニュアル」について
- 2. その他のマニュアル紹介
「診療情報の提供に際して」
「中心静脈カテーテル挿入」
「医薬品の安全使用の」
- 3. 電子カルテ「病状説明」
- 4. リスクマネージャー

医療安全推進マニュアルはどこにある??

注射用カリウム製剤の使用について

- 安全に配慮した製品を採用「プレフィルドシリンジ製剤」
- 危険性を理解した添付文書の規定で使用する

インシデント・アクシデント報告

報告方法

- 報告は、リスクマネージャー (セーフティマネージャー) が1日1回ログインし確認する
- 承認・完了 月

暴言・暴力対応

- 発生時対応フローチャート
- バイオレンス報告書
- 所長 → 医療安全管理者
- 被害を受けた職員は、救急室受診

侵襲的な検査・処置での誤認防止 (タイムアウト)

- 開始直前に医師・看護師・技師は手を止めて、必要事項を確認 (医師の責任のもと)

放射線検査・血管造影、画像ガイド下下肢全脚、ルートブロック
内視鏡検査・処置を行う内視鏡検査
診療科で決めた処置、生検術、治療など

横浜労災病院

横浜労災病院 (johas.go.jp)



11月21日 (月) ~ 12月2日 (金)

■ 医療安全コーナーの設置

- 外来スペースにポスター掲示
- 各病棟が作成したもの
- 薬剤（アレルギーや誤認防止等）
- 感染管理とも共同し、抗菌薬についてのポスター掲示

■ 医療安全パトロールの実施

- 手術室でのサインイン、タイムアウトの実際を確認



新潟労災病院

新潟労災病院 (johas.go.jp)



11月1日（火）～11月30日（水）

■ 医療安全コーナーの設置

「災害に対する各部署の平時からの備え」について紹介
医療安全研修（eラーニング）「災害を理解し、これからの医療体制をつくる～想定外をコントロールする～」を全職員対象に受講後、各部署で「災害に対する平時からの部署内の備え」について話し合った内容をポスターにまとめ、院内に掲示。

■ 職員研修

「うちの病院は大丈夫？過去の事例から考える医薬品の安全使用」（院内eラーニングシステムで配信）
薬剤部長 中田 吉則

■ 医療安全パトロールの実施

パトロールテーマ「患者誤認防止に関する取り組み」
地域の病院と医療安全相互チェックを実施



富山労災病院

富山ろうさい病院 (johas.go.jp)

11月21日 (月) ~ 11月25日 (金)



■ 医療安全コーナーの設置

「皆さんと共に取り組む医療安全」

～医療安全いろはかるたを掲示～

各部署での取り組み（患者誤認防止や医療安全推進活動など）をいろはかるたで表現したポスターを掲示した。

■ 職員研修

【全職員対象 全体研修】

療養生活を安全にサポートするために

～入院で変化する生活・薬剤・食事のリスクを理解しよう～

【外来患者対象 レクチャー】

① 高齢者の正しい薬との付き合い方

② きびきび体操

■ 医療安全パトロールの実施

身だしなみ・接遇・作業環境・薬剤管理医療安全パトロールの実施

令和4年度 医療安全推進週間の写真

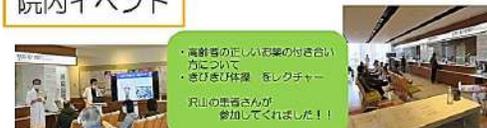


平野院長と
炭田看護部長の
素敵な笑顔



今年は
世界糖尿病デーとコラボし、
患者様へアピール

院内イベント



高齢者の正しい薬の付き合い方について
きびきび体操 きレクチャー
沢山の患者さんが
参加してくれました！！

医療安全全体研修

糖尿病療養生活を、安全にサポートするために
～入院で変化する生活・薬剤・食事のリスクを理解しよう～



安全パトロール



5A病棟



6B病棟



ペーパーホルダーの位置を高くして
車椅子の患者には
手が届かない！！

安全パトロール



リハビリ



整理・整頓・清掃
・清潔・しつけ
5Sが徹底されていました。

浜松労災病院

浜松ろうさい病院 (johas.go.jp)

11月17日 (木) ~ 11月30日 (水)



■ 医療安全コーナーの設置

「チームで高める医療安全」

- ・各部門、部署ごとのポスター掲示
- ・患者、家族、職員から募集した医療安全川柳の掲示

■ 医療安全パトロールの実施

医療安全対策マニュアル内容の確認、ベッドサイドの環境チェック



中部労災病院

中部ろうさい病院 (johas.go.jp)

11月18日 (金) ~ 11月29日 (火)



■ 医療安全コーナーの設置

実施日：令和4年11月22日 (火)

テーマ：「手洗い体験その手はきれい？」

担当者：感染管理認定看護師 医療安全管理者

参加者：手洗い体験患者、家族22名、職員5名



■ 医療安全研修

実施日：令和4年11月24日 (木)

第3回医療安全研修ポスター発表

GOODプラクティス賞発表

4月~10月までの重要事例のGOODJOB事例から3部署

表彰した。



旭労災病院

旭ろうさい病院 (johas.go.jp)



11月1日 (火) ~ 11月30日 (水)

- 医療安全コーナーの設置
患者確認に関する各部署の取り組み
- 医療安全パトロールの実施
「2点での患者確認行っていますか？」



大阪労災病院

大阪ろうさい病院 (johas.go.jp)

11月20日 (日) ~ 11月26日 (土)



■ 医療安全コーナーの設置

テーマ：「患者誤認対策」「転倒転落を予防する取り組み」

パネル展示 (正面玄関横)

医療安全週間ポスター掲示

(玄関、EV内、各病棟フロア)

■ 医療安全研修

「コロナ禍で患者と共に取り組む医療安全」



関西労災病院

関西ろうさい病院 (johas.go.jp)



11月26日（土）～12月2日（金）

■ 医療安全コーナーの設置

転倒・転落予防対策

転倒予防の対策・体操、認知症ケアチームの活動、医療安全ラウンドの展示、患者誤認防止ポスター掲示

■ 医療安全研修

コロナ患者対応、防護用具着脱と手指衛生実働訓練

～コメディカルの実働訓練～

講師：感染管理認定看護師

医師、臨床工学士、歯科衛生士、薬剤師、臨床検査技師、放射線技師、理学療法士・作業療法士 16名が参加。

個室入室時の、手指衛生、防護用具の着脱方法を実演。他者評価を受け、部署教育に活用する。



神戸労災病院

神戸労災病院 (johas.go.jp)



11月21日 (月) ~ 11月25日 (金)

■ 医療安全コーナーの設置

医療安全に関するポスター展示、医療安全標語の掲示、デジタルサイネージを使用した啓蒙活動、医療安全推進ラウンド、啓蒙バッチ装着、医療安全研修

■ 医療安全パトロールの実施

「自部署における医療安全活動について」



和歌山労災病院

和歌山ろうさい病院 (johas.go.jp)

11月20日 (日) ~ 11月26日 (土)



■ 医療安全コーナーの設置

- 「ギュギュっと元気-NHK」当院医師・看護師・コメディカルの過去放送、転倒転落予防オリエンテーションDVDを放映
- ・厚生労働省ポスター掲示
- ・医療事故調査制度のポスター掲示
- ・リーフレットをインフォメーションに設置

■ 医療安全研修

- 令和4年度 第2回医療安全研修 「取り違え」
- 令和4年度褥瘡対策研修会
「褥瘡対策の基本に立ち返って」
- 令和4年度 医療放射線安全管理研修
「ガラスバッチの取り扱いについて」

■ 医療安全パトロールの実施

「患者確認」



山陰労災病院

山陰労災病院 (johas.go.jp)



11月21日 (月) ~ 11月26日 (土)

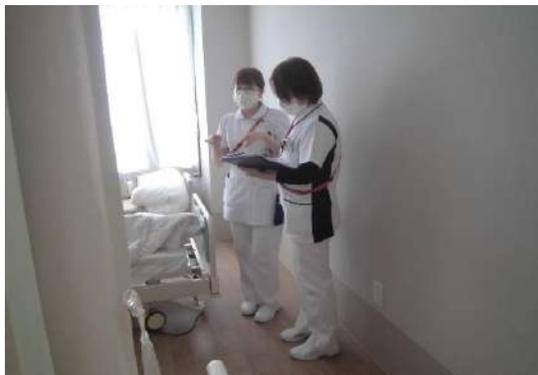
■ 医療安全コーナーの設置

- 医療安全に関するポスター (各委員会で作成)
- 職員から募集した医療安全川柳を審査し、入賞作品を掲示

■ 医療安全パトロールの実施

安全な療養環境が提供できているかチェックし現場への助言及び医療安全予防策の検討と実施に繋げる。

実施者：看護師長、感染管理者、医療安全管理者
患者のベッドサイドで転倒転落対策について聞き取り



岡山労災病院

岡山ろうさい病院 (johas.go.jp)



11月22日 (火) ~ 12月2日 (金)

■ 医療安全コーナーの設置

医療安全に関するポスター掲示 医療安全に関する川柳を募集し掲示 フレイル予防体操動画を放映 予防体操資料配布

■ 職員研修

職員研修：医療機器研修（医療ガス）と小テスト
臨床工学技士作成の資料を配布

■ 医療安全パトロールの実施

医療安全ラウンド

(5S/誤認防止/事例検討対策の確認)

医療安全統括責任者/薬剤部長/臨床工学士
/看護部安全対策委員長/医療安全責任者)



中国労災病院

中国労災病院 (johas.go.jp)



11月21日（月）～12月15日（木）

■ 医療安全コーナーの設置

各部署の取り組みを画像等で表示。
標語など各部署の取り組みを展示した。（11月30日まで）
展示終了後は、外来受付モニターでスライドショーを行った。
（12月15日まで）



■ 医療相談コーナーの設置

認定・専門看護師フェア



■ 職員研修

災害訓練 机上訓練
講師・救急部部長 酒井浩



■ 医療安全パトロールの実施

入院時書類の取り扱いについて
各同意書の取り扱い記録について



山口労災病院

山口労災病院 (johas.go.jp)

11月20日 (日) ~ 11月26日 (土)



■ 医療安全コーナーの設置

◎ 市民への情報提供

【スライドの放映】

① 予防のためのリハビリ知識「畳の上の怪我」を減らすには

② 新型コロナウイルスとともに生活するために

◎ 院内各部門の医療安全の取り組み紹介

【地域住民のコロナ防護服装着体験】

感染管理認定看護師2名 ・ 看護師長1名

■ 職員研修 (WEB開催)

インフォームドコンセントを倫理的立場から考える
山口大学医学部附属病院 山口道也 先生

■ 医療安全パトロールの実施

転倒転落予防環境KYラウンド



患者・家族、職員による投票を行い、それぞれ最優秀賞、優秀賞、優良賞を選考した。



新聞掲載等宇部日報
11月25日 掲載



転倒転落予防グッズの販売

香川労災病院

香川労災病院 (johas.go.jp)



10月24日 (月) ~ 12月2日 (金)



■ 医療安全コーナーの設置

標語・川柳コンテスト
患者アンケート

■ 医療安全パトロールの実施

患者誤認防止、指示・与薬マニュアル、薬品管理、5S、心理的安全性、感染防止、設備の管理、衛生管理など



標語・川柳コンテスト テーマ: 職員間の対話促進

| エントリー番号 | 内容 | 投票数 |
|---------|-----------------------------------|-----|
| 3 | 顔の見えない電話口「忙しそうに言わないで」言いたいことが言えません | 30 |
| 16 | ありがとう どんなときも おたがい様 | 29 |
| 8 | ねえ先生 顔色うかがう 患者と私 | 22 |
| 1 | 忙しい! そんなときこそ伝えなさい | 20 |
| 6 | Z世代にティーチング 指導に悩む私は マジンガーZ世代 | 20 |
| 23 | おかしくない? どう思う? こんな気づきお互いに | 16 |
| 18 | 報告も 迷いためらう丑三つ時 声のトーンに ホットする | 15 |
| 17 | 思い込み 話せばわかる 知らんけど | 14 |
| 25 | 「ありがとう」言葉に出して伝えたら 周囲に広がる温かい輪 | 14 |
| 19 | マスクして 密な会話で 防ぐミス | 12 |
| 26 | あいさつと対話ではかる チーム力!! | 12 |
| 10 | マスク下 今日も作り笑顔に しわふえる | 11 |
| 15 | 老いも若きも 聞いて教えて 病棟円満 | 11 |
| 11 | 老眼鏡 見えてよかった 指差し呼称 | 10 |
| 12 | 聞くことは 恥ではなく 教えることは人を育て チームワーク | 10 |
| 27 | 一人一人の心の繋がり 信頼の医療 | 10 |
| 4 | 笑顔と対話 生み出す世界は 団結心 | 9 |
| 5 | 年老いて マスク越しでは聞き取れず 指示を何度も聞き返す | 9 |
| 29 | 確認事項 その都度行う チーム力 | 9 |
| 2 | 忙しい? そんなときこそ 伝えてね | 8 |
| 14 | 確認は 医師と看護師との 同様の呼吸 | 8 |
| 24 | ご意見箱 みんなで考える宝石箱 | 8 |
| 7 | 会話から つくれるものは コミュニティとセーフティー | 7 |
| 20 | いづれにしても「対話」がすべて あなたがた | 6 |
| 21 | 職員間 密な会話で 安全文化 | 6 |
| 9 | 口ぐせは ばあ~とため息 前向きに 声かけよう | 4 |
| 13 | 一人より二人 それがダブルの力発揮で 病棟円満 | 4 |
| 28 | 患者さんに届け!! 個の力よりチームの力 | 4 |
| 22 | 耳を活かし 舌も活かして それが対話 | 2 |

愛媛労災病院

愛媛労災病院 (johas.go.jp)



11月18日 (金) ~ 12月2日 (金)

■ 医療安全コーナーの設置

テーマ：「わかるまで聞こう話そう伝えよう」

医療安全に関するポスターの展示

- ・医療安全標語の掲示
- ・医薬品副作用被害救済制度のポスター掲示
- ・医療事故調査制度のポスター掲示



■ 職員研修

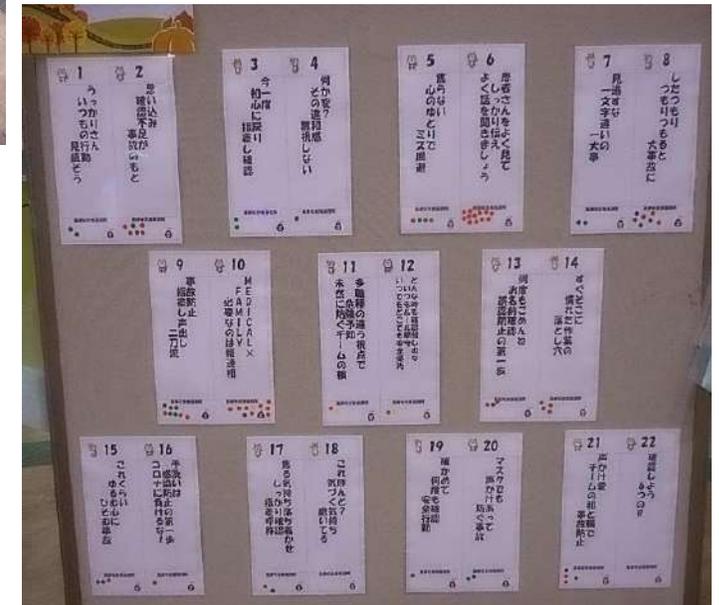
「医薬品の安全管理について」講師：長嶋一泰 医薬品安全管理者

「放射線の安全管理について」講師：高橋周 中央放射線技師

11/29会議室・ZOOM参加でのハイブリッドで職員研修会を実施

■ 医療安全パトロールの実施

「患者にとっても職員にとっても「安全・快適な医療環境、職場環境」を整える環境ラウンド (5S) のチェック項目に沿って実施



九州労災病院

九州労災病院 (johas.go.jp)

11月21日 (月) ~ 11月25日 (金)



■ 医療安全コーナーの設置

医療安全の取り組み

- ・看護部：療養環境におけるKYTの実施をポスターにして掲示
- ・栄養管理室：ミニ講座に関連した骨粗鬆所予防の栄養指導のポスター掲示
- ・薬剤部：PMDA 医薬品副作用被害救済制度のポスター掲示と冊子の配布

■ 職員研修、シンポジウム、講習会、市民講座等

テーマ：「あなたの骨は大丈夫？」 ~ 転倒しても骨折しない体づくり ~

講師：九州労災病院 脊椎外科部長

勤労者骨・関節疾患治療研究センター長 今村 寿宏先生



■ 医療安全パトロールの実施

- ①患者誤認防止
- ②転倒転落・行動制限
- ③生体監視モニター
- ④救急救命処置



九州労災病院 門司メディカルセンター

[門司メディカルセンター\(johas.go.jp\)](http://johas.go.jp)

10月19日(水)～12月20日(火)



■ 医療安全コーナーの設置

「患者誤認対策」テーマに沿ったKYTの実施とポスター展示



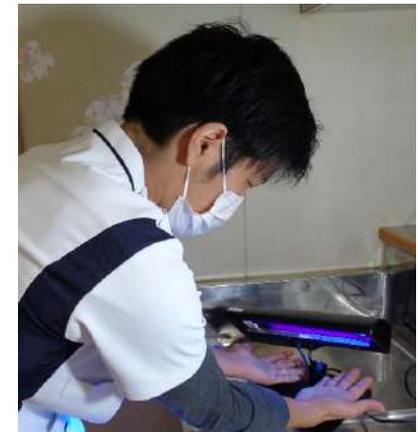
■ 職員研修

患者誤認対策に関するKYT活動

手洗い調査

ラウンド参加者:

医療安全管理者、各部署リスクマネージャー、感染管理認定看護師



長崎労災病院

長崎労災病院 (johas.go.jp)



11月16日 (水) ~ 12月6日 (火)

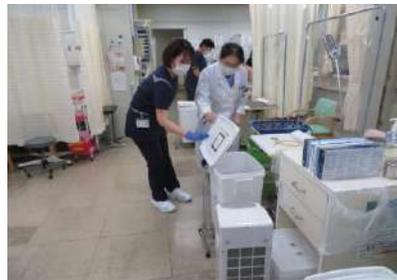
■ 医療安全コーナーの設置

医療安全活動報告

患者・家族だけでなく、職員にも閲覧してもらい、投票を実施。1~3位までを表彰する。

■ 医療安全パトロールの実施

院内の環境と手順の確認 (患者確認)
薬剤の安全な使用について



■ 広報誌、ホームページ等

患者向け広報紙「YAHHOO!」の発行
餅による窒息事故、冬季に多発する
入浴中の事故
(ヒートショック) について



熊本労災病院

熊本労災病院 (johas.go.jp)



11月22日 (火) ~ 11月24日 (木)

■ 医療安全コーナーの設置

「患者確認」ポスター、システム改善報告の展示
【「誤嚥予防」について】

担当者：看護師、栄養士

【手洗いチェック】

担当者：感染管理認定看護師、看護師、コメディカル

■ 医療安全パトロールの実施

院内の環境と手順の確認（患者確認）
薬剤の安全な使用について

■ 広報誌、ホームページ等

- ・事前のお知らせは院内掲示、デジタルサイネージへ掲載
- ・1日目の写真をホームページへ掲載



誤嚥予防 栄養相談



手洗いチェック



手洗いチェック



システム改善報告掲示



吉備高原医療リハビリテーションセンター

吉備高原医療リハビリテーションセンター(johas.go.jp)



11月20日（日）～11月26日（土）

■ 医療安全コーナーの設置

「手指衛生」

■ 医療安全パトロールの実施

転倒転落防止、医薬品の管理状況、与薬準備方法について
医療安全総括責任者（院長）、
医療安全推進委員会委員 4名
医薬品安全管理責任者、医療安全管理者



総合せき損センター

[総合せき損センター\(johas.go.jp\)](http://johas.go.jp)

11月17日(木)～11月28日(月)



■ 医療安全コーナーの設置

テーマ：「各部署における医療安全の取り組み」

各部署のポスターの掲示

医療安全川柳の掲示（患者誤認防止）

川柳は職員より募集

転倒転落防止・フレイルについて

■ 職員研修

個人情報・プライバシー『情報漏えい事故』

セーフティプラス

上尾中央総合病院 副院長 長谷川 剛先生

弁護士法人御堂筋法律事務所 弁護士 山崎 祥光先生



北海道せき損センター

北海道せき損センター (johas.go.jp)

11月22日 (月) ~ 11月26日 (金)



■ 医療安全コーナーの設置

テーマ: 「わかるまで聞こう話そう伝えよう」
医療安全通信の掲示

■ 職員研修

令和5年1月16日~1月31日実施
「一時救命処置に関する基礎知識」
資料配布
ミニテストの実施



北海道せき損センター

せき損センターニュース

基本理念
良質で安全な医療
信頼される医療
心の通う医療

基本方針
・北海道のせき損医療を守り最先端のせき損医療を行います
・診療科を充実させ地域医療に貢献します
・病院の持続的発展のため経営基盤を確立します

当院では、整形外科を始め、内科、循環器内科、外科、形成外科、脳神経外科、泌尿器科、皮膚科、リハ科、歯科の一般診療を行っています (一部院内搬送)。

発行者 独立行政法人労働者健康安全機構
北海道せき損センター 院長 三浦明男
〒072-0015 美幌市東4条南1丁目3-1 ☎0126-63-2151
FAX 0126-63-2853 <https://www.hokkaido-h-s-johas.go.jp/>

医療安全通信
高気圧酸素療法

高気圧酸素療法とは?
体内には呼吸により赤血球のヘモグロビンと結びついた結合型酸素と気圧により溶け込んだ溶解型酸素があり、当院の大型二種装置で100%の酸素を吸入すると圧力に応じて血漿に酸素がどんどん溶解し、わずかな量でも溶解型酸素が増加し効果を発揮します。

大型二種装置がなぜ美しい!
1978年に2号機が導入された背景には当時の

結合型 **溶解型**

酸素
赤血球 (ヘモグロビン)

臨床工学会
高気圧酸素療法の紹介

主だった産業である炭坑が近隣に三管・夕張・上砂川・赤平など多数あり一酸化炭素中毒による労働災害がたび重なりました。

一酸化炭素のヘモグロビン結合力は酸素の約200倍でペットサイド

血液

結合型 ↑ 溶解型はわずか

リハビリ機器を紹介します

での酸素投与では脳萎縮による予後の悪化が深刻なことに、そこで大量の酸素が隅々まで行き届く高

リハビリのトレッドミルトレーニングを紹介いたします。トレッドミルトレーニングは歩行のリハビリのひとつで、ベルトコンベアの上を歩く機械です。

当院では、脊髄損傷の患者さんに対して、歩行練習をする際に使用しています。

ベルトコンベアが回転する速度を機器で設定してしまえば、患者さんの歩く速度もそれによって決まるため、床の上を歩く歩行練習と比べると、一定の運動を繰り返すというメリットがあります。

また、トレッドミルトレーニングは、身体を上げることによって体重を軽くして、歩行練習を行うことができます。安全装置としても機能するので、万一患者さんがトレッドミルトレーニング中になつても、転倒を防ぐことができますというメリットがあります。

この機能によって、より安全に歩行練習をすることができるようになっています。

リハビリ機器を紹介します

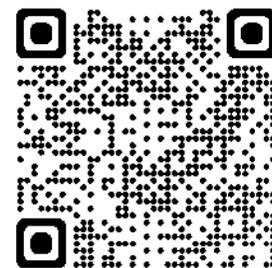
フリーニングに免荷装置を加えたものを免荷式トレッドミルトレーニングと言います。

免荷装置は、身体を上げることによって体重を軽くして、歩行練習を行うことができます。安全装置としても機能するので、万一患者さんがトレッドミルトレーニング中になつても、転倒を防ぐことができますというメリットがあります。

この機能によって、より安全に歩行練習をすることができるようになっています。



ご覧いただき
ありがとうございます。



[労働者健康安全機構 トップページ \(johas.go.jp\)](https://johas.go.jp)